

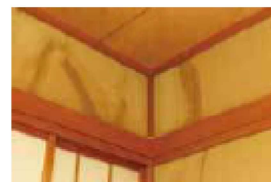
梅雨の空き家の劣化リスク



6月は、一年で最も家が傷みやすい季節です

雨漏りや湿気が多いと、次のことにつながります。

- ・雨漏り → 木材が腐食し、家が傾く。
- ・湿気 → カビ・異臭・ダニの発生
- ・草木の繁茂 → 害虫の発生と近隣トラブル



梅雨を気にせず放置したら、雨漏りで秋には天井に染みが。柱も腐食して数十万円の修繕費がかかりました。もっと早く動いておけばよかったです。



放置すると、修繕費用が一気にかさむことも

- 【例】
- ・雨漏り：一部補修で済んだものが、天井の全面張り替えに
 - ・畳や床下の湿気：換気で防げたものが、床の全面交換に
 - ・壁のひび割れ：小さな補修で済んだものが、家全体の修繕が必要に



次のことを確認しましょう

- ☐ 屋根・外壁にひび・破損がないか。
 - ☐ 雨どいが枯れ葉などで詰まっていないか。
 - ☐ 畳や床下に湿気がたまっていないか。カビがないか。
- * 月1回以上の室内の換気、除湿剤や換気扇の活用が有効です。

問い合わせ
三條市 空き家相談窓口
☎34-5435
メール vh.worker@gmail.com